

基本計画策定部会における主要な検討項目(例示)

1 親の就業形態や子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育ての支援

問題意識

就労形態に応じた保育サービスの充実や保育所と比較して開所時間が短い放課後児童クラブの時間延長など、利用者本位の観点から見直しが必要ではないか。

2 仕事と子育ての両立が図れる職場環境整備のための実効ある取組み

問題意識

育児休業等の子育て支援制度を活用しやすく、男性の育児参加が進むなど、雇用環境の整備や雰囲気づくりに向け、より実効ある取組みが必要ではないか。

3 将来の夢や希望を持ち、目標に向かってチャレンジする逞しい子どもたちの育成

問題意識

出生数が増大することも大切であるが、生まれた子どもたち一人ひとりが、親や家族からの愛情を受け、多様な人々との関係を築くなかで、将来の夢や希望を持てるようにすることが何よりも重要ではないか。

4 少子化の大きな要因となっている未婚化・晩婚化に対処するため、若者の結婚・生き方、就職などへのトータルな支援

問題意識

未婚化・晩婚化が少子化の要因であることから、若者が未来に希望を持って、子どもを持ちたいと思えるよう、若者の実態に即した支援が必要ではないか。

5 県民ひとり一人が子育て支援・少子化対策に主体的に取り組む、社会全体で子育てを支援する気運の醸成

問題意識

子どもを持たない者、既に子育てを終えた者もすべての県民が子育てに関心を持ち、子育て支援活動が地域の暮らしの中に根付くことが必要ではないか。